

(1) 歴史的建造物のリノベーションによるコンパクトなまちづくり促進事業

地方創生推進交付金 (H28~R2)

長井小学校第一校舎整備計画

地方創生拠点整備交付金 (H29)

課題

- 中心市街地の賑わいの喪失
- 公共交通の利便性の低下
- 長井小学校第一校舎の遊休化
- 将来の産業等の担い手不足

重要業績評価指標(KPI)

- 中心市街地における歩行者通行量(R2) ……397人/日
- まちなか観光客数(年間) (R2) ……393,057人
- 旧長小第一校舎利用客数(延べ)(R1-R2累計) ……154,400人
- 旧長小第一校舎による経済波及効果(R2) ……712,420千円
- 旧長小第一校舎活用による収入額(R2) ……164,217千円

計画の概要

「旧長井小学校第一校舎」の有効活用

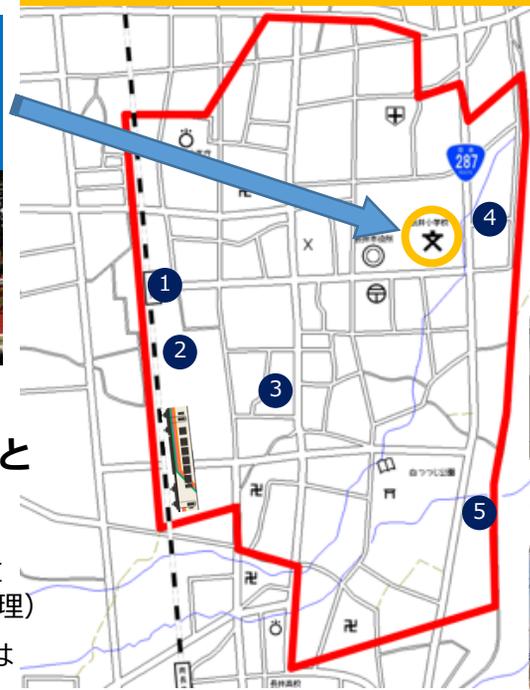


木造校舎の雰囲気を活かした「まなび」と「交流」の拠点に！

※R1年度から民間事業者による校舎の活用（指定管理）

R2. 3月末時点の来館者は延べ72,744人

中心市街地活性化基本計画における主な集客施設



①長井駅



②公共複合施設



※写真はイメージ

③本町複合施設



※写真は「クロスバ」

④観光交流センター



⑤T A S パークホテル



※実線で囲まれた区域は中心市街地活性化基本計画区域

○子どものまなびの場

①キャリア教育

こどものまち※や起業体験ワークショップなどの取組を実施
※子どもが自分たちで企画し、まちで仕事をして、給料をもらい、その給料で買い物したり遊んだり楽しみながら、社会の仕組みを学べるイベント。県内では長井市が初実施。



②中高生の学習

フリースペースを放課後の中高生が学習の場として活用



○大人のまなび直しの場

英会話講座やファシリテーション講座など仕事や生活に役立つ学びの機会、歴史的建造物講座など長井市の歴史を学ぶ機会などを提供



○多様な交流の場

フリースペースは、中高生の勉強 以外にも、親子連れの遊び場やお茶飲みの場として様々な世代が利用

「みんなでボードゲーム」などのイベントにより、様々な世代の交流を促進



R1年度の交付金事業評価

所管課	総合政策課、公共施設整備課											
事業期間	H28年10月～R3年3月											
地方創生 推進交付金 事業費	事業期間の実績額	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		4か年合計		
		14,979,600円		13,349,564円		77,760,188円		84,095,545円		190,184,897円		
地方創生 拠点整備交付金 事業費	事業期間の実績額	H29年度						事業終了年度				
		320,000,000円										
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		達成 状況	R2年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標	達成率
	中心市街地における 歩行者通行量(人)	211	132	232	190	273	256	335	439	達成	397	110%
	まちなか観光客数 (千人)	199	18	221	662	264	1,111	328	1,525	達成	393	388%
	旧長井小学校第一校舎 利用者数(千人)	0	0	0	0	12	0	50	73	達成	92	79%
	旧長小第一校舎による 経済波及効果(百万円)	0	0	0	0	67	0	287	392	達成	359	109%
旧長小第一校舎活用による 収入額(百万円)	0	0	0	0	14	0	67	3	未達成	84	4%	

所管課 評価	達成状況	2	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況の要因	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の歩行者には旧長井小学校第一校舎の利用者も含まれており、目標の達成に貢献したと考えられる 第一校舎において、市内イベントと連携した取組も行っており、道の駅「川のみなと長井」の集客、地域連携DMO「やまがたアルカディア観光局」の取組などの効果も併せて、まちなか観光客数も目標を達成できた 第一校舎の利用者については、2019年4月開館以降、特にフリースペースを幅広い世代が利用しており、目標を達成できた 想定を上回る利用者があったため、市内経済への波及効果も相当程度あったと考えられる 第一校舎活用による収入額については、貸館利用による収入がほとんどで、その他の収入に乏しいことから目標達成に至らなかった 	
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 第一校舎から商店街などまちなかへの人の流れを創出 第一校舎での飲食の提供等による新たな経済活動の創出 	
	今後の取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> 観光分野等と連携したまちなかへの人の誘導など交流機能の強化 第一校舎内での飲食提供など、利用者のさらなる利便性の向上 	

委員評価

- 令和2年度にカフェがオープンしたが、まだ十分に知られていない。積極的な広報活動が必要
- KPIのうち、収入額の達成度が極めて低いため、飲食機能を活かしていくべき

(2)地域連携DMOを中心とした観光地域づくり推進事業

地方創生推進交付金 (H31~R3) 南陽市、白鷹町、飯豊町との連携事業

課題

- 全国的な知名度が低く、観光客の行き先選ばれていない
- 美しい自然などの地域資源を観光に活かせていない
- インバウンドの受入れ体制が不十分
- 地域DMO「やまがた長井観光局」をH28に設立し、旅行商品販売に取り組んできたが宿泊を伴う商品が少ない
- 観光地域づくりに対する住民等の理解が進んでいない

重要業績評価指標(KPI)

- DMOの旅行業等による売上
11,817千円 → 71,502千円 (累計)
- DMOの旅行商品催行数
78件 → 249件 (累計)
- DMOの取り扱いによって宿泊を伴う旅行をした人数
50人 → 393人 (累計)
- DMOの会員数
62件 → 132件 (累計)

※ 指標は連携市町の合計値

事業イメージ

地域連携DMOによる旅行商品の企画販売

- ・長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町の2市2町の地域連携DMO、



- ・観光局では、マーケティング調査や旅行商品の企画販売、旅行商品を販売するHPの運営、お土産品の開発等を実施



縁結びの神 熊野大社で巫女体験

令和2年2月21日(金)、3月16日(月)、3月20日(金・祝)
日帰り/8,000円

販売している旅行商品

地域の観光客受入れ体制の整備

- ・「道の駅川のみなと長井」等の観光案内場所におけるインバウンドに対応した窓口体制の整備
- ・長井ダム等の観光資源の魅力向上
- ・インナープロモーションによる地域内の理解促進



長井ダムでの
水陸両用バスの運行



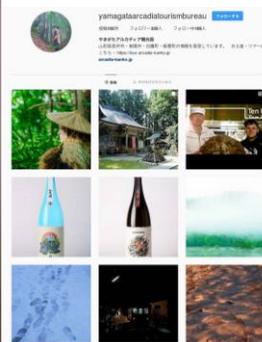
季刊誌による
地域への
取組周知

地域の観光PR

- ・国内外の大手旅行会社のツアーに組み込んでもらうためのエージェント向け営業
- ・台湾インバウンドの取り込みに向けた海外展示会への出展
- ・SNSの活用やインフルエンサーの招聘による国内外への情報発信



著名なアーティスト
大友昇平氏と地元
酒造のコラボ商品



Instagramによる
情報発信

R1年度の交付金事業評価

所管課	商工観光課
事業期間	R1年4月～R4年3月
連携自治体	長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町

事業費	事業期間の実績額	R1年度		最終評価年度
			うち長井市	
		113,821,544円	90,949,544円	

重要業績評価指標 (KPI)	指標名	R1年度		達成状況	R3年度	
		目標	実績		目標	達成率
	DMOの旅行業等による売上(百万円)	17	26	達成	72	36%
	DMOの旅行商品催行数(件)	115	161	達成	249	65%
	DMOによる宿泊を伴う旅行をした人数(人)	118	239	達成	393	61%
	DMOの会員数(人)	82	52	未達成	132	39%

所管課評価	達成状況	2	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況の要因	<ul style="list-style-type: none"> 水陸両用バスの本格運行による収益増。 旅行者のニーズに合わせた2市2町の観光素材による多様な旅行商品の造成に取り組めたため。 組織の認知度は高まってきているが、会員数になかなか結び付かない状況にある。 	
	評価指標以外の成果	<ul style="list-style-type: none"> 季刊誌を発行し、2市2町地域への全戸配布を行うことで地域への観光地域づくりへの理解を図れている。 戦略会議を月一回開催するなど地域の関係者を中心とした観光地域づくりの取り組みを地道に行っている。 地域の資源を生かしたお土産品開発による知名度の向上に資する取り組みを行えた。 旅行商品の催行により地域への経済効果が生まれている。 台湾に現地スタッフを雇用し、台湾に加え、タイ、マレーシア向けに営業を行うなどインバウンドを対象としたランドオペレータ業務を展開できた。 	
	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式に対応した新しい旅行の仕組みを確立しながら、近隣県から国内観光、その後の訪日外国人観光客を誘客すべく段階的に当地域ならではの魅力を生かした取り組みを行っていく。 	

委員評価

・特段、意見なし

(3) 地域一体で行う6次産業化商品 販路拡大プロジェクト

地方創生推進交付金 (R1~R3)

課題

- 6次産業化商品の知名度不足
- 市内、域内での販売にとどまっている
- 小規模な事業者が中心で販売活動が困難 等

重要業績評価指標(KPI)

- プラットフォームの商品売上高(R3)……………2,000万円
- プラットフォーム参加会員数(R3)……………20人
- 6次産業化商品開発数(R3)……………30点

計画の概要

これまで

6次産業化に取り組む事業者

もっと売上を伸ばしたい…



売上 (少)

事業者ごとに販売活動

市内の道の駅・菓子店



新設

6次産業化プラットフォーム

市外への販路拡大に取り組む事業者によって構成し、小規模な事業者たちが一丸となり、地域一体で販売活動を行う。



売上UP!

首都圏や仙台圏の百貨店・スーパー



施策①

商品の知名度UP!

施策②

新たな販路開拓の突破口!



商品のブランディング



販路開拓に知見のあるプランナーが指導

販売活動の強化

ECサイトによる全国への販売



長井市の主な6次産業化商品



◀ウマヤマポリポリ (ひなた村)

長井市在来の豆「馬のかみしめ」を使用した炒り豆。無添加で豆本来の味が楽しめます!



◀キラリボシの菜の花油 (菜の花の村未来づくりの会)

化学薬品を使用しないで一番搾りしたこだわりを貫いた油です。菜種の風味と香りを感じさせる逸品です。



◀黒ニンニク (仲島農園)

長井市産ニンニクを乾燥させた「黒ニンニク」しっかりと甘みと辛みが特徴です。

馬のかみしめアイス (なごみ庵) ▶

豆なのに栗? 在来豆の味がしっかり味わえるアイスです。



R1年度の交付金事業評価

所管課	産業活力推進課					
事業期間	H31年4月～R4年3月					
事業費	事業期間の実績額	R1年度		最終評価年度		
		8,842,658円				
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	R1年度		達成 状況	R3年度	
		目標	実績		目標	達成率
	プラットフォームの 商品売上高(百万円)	5	1	未達成	20	5%
	プラットフォーム参加 会員数(人)(累計)	5	5	達成	20	25%
	6次産業化商品開発数 (点)(累計)	7	7	達成	30	23%
所管課 評価	達成状況	2		← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった		
	達成状況の要因	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発研修会の開催と併せて、専門的な知見を持つコーディネーターを配置したことで、売り先の要望を取り入れた商品開発が進んだが生産量が少ないため売上高の目標は未達成となった。 				
	評価指標以外の 成果	<ul style="list-style-type: none"> 東京や仙台の高質スーパーや百貨店でPR催事を年4回実施した。開催店のバイヤーや催事担当者との関係性を深め個別事業者の商談機会を増やすことが可能となった。 関係者や市民モニターを招いて、6次化商品の発表会を開催し、令和元年度最優秀賞を選出した。発表した商品情報をPR用冊子としてまとめた。 				
	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 会員の取り組みや支援内容を紹介するWEBサイトのコンテンツを充実させ、情報発信することで会員増に努めていく。 コーディネーターの専門的な知見、販路との繋がりを活用し、事業者の課題整理をしながら、適切な売り先とのマッチングを進め売上高の拡大を図っていく。 新たな付加価値として栄養士を活用してアレルギー対応の商品開発を検討していく。 				

委員評価

- ・マスコミへの周知をはじめ、ネット情報や冊子を活用してさらなるPRが必要
- ・市内での周知も重要。ふるさと納税の活用、販売的な特典を付けて市内の直売所に商品を置くなど、アイデアを出した商品のPRに期待

(4)官民協働・地域間連携（中間支援プラットフォーム構築）による 住民主体の地域づくり推進事業

地方創生推進交付金（H28～R2）
山形県及び県内13市町との連携事業

※長井市はR1から追加

課題

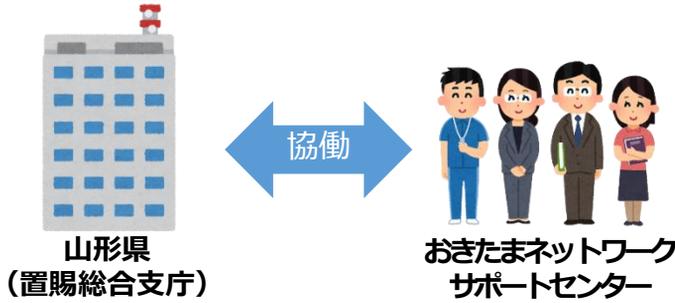
- 安心して暮らし続けられる地域の体制づくり
- 県、市、民間の連携が不足 等

重要業績評価指標(KPI)

- 地域運営組織形成数(R2)……………138か所
- 地域おこし協力隊員の本県定住率(R2)……………65%

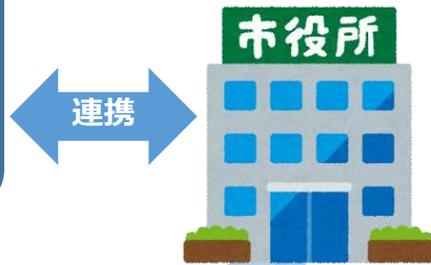
計画の概要

中間支援プラットフォーム



中間支援プラットフォームの役割

- ・地域課題の把握
- ・課題に応じた施策のコーディネート
- ・人材育成・活用



支援のプロセス

- ①住民の意識醸成
- ②地域運営組織の形成
- ③生活サービスの維持・確保
- ④活動の発展（コミュニティビジネス等）

各コミュニティセンターへ支援



長井市における特徴的な取組



▲長井さしこ[中央]
伝統工芸「長井さしこ」の継承・普及のため、冊子を制作。SNSなどを通して全国から購入希望があった。



▲ALL致芳市[致芳]

地区内の各店舗の逸品から家庭菜園の農作物、手工芸品に至るまで豊富なジャンルの商品を販売。今年度は文化祭とタイアップし、大勢の買い物客で賑わった。また、高齢者向けに地区内の臨時バス運行も実施。



▲古代の丘を盛り上げる事業[西根]

地域住民でのWSを重ね「古代の丘整備計画」を策定。計画を基に、敷地内で試験的にブドウ栽培などを実施予定。また、古代の丘アクセス道路の支障木の撤去などを実施。



▲買い物支援[伊佐沢]

コミセン内で試験的にゴミ袋を販売。ミニデイなどでコミセンを利用する高齢者から好評で、次年度は品数を増加する意向。7月、12月には、運転免許がなく遠出できない高齢者の方向けに買い物ツアーを実施。



▲交流サロン[平野]

施設内に交流サロンを設置。議会中継の視聴など、サロンを活用した催しも実施し、地区住民の交流促進と居場所づくりに寄与した。



▲豊田を語るテキストブック[豊田]

フットパス等でのまちあるき観光への対応と、観光案内人の後継者育成のため、地区のテキストブックを作成。

R1年度の交付金事業評価

所管課	地域づくり推進課							
事業期間	H28年4月～R3年3月（長井市はR1年4月～）							
連携自治体	山形県、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、尾花沢市 河北町、西川町、朝日町、大江町、金山町、白鷹町、飯豊町、庄内町							
事業費	事業期間の実績額	R1年度			最終評価年度			
				うち長井市				
		220,844,000円		13,747,000円				
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	R1年度			達成 状況	R2年度		※ 指標は連携 自治体全体の 数値
		目標	実績	うち長井市		目標	達成度	
	地域運営組織 形成数(箇所)	42	42	6	達成	59	71%	
	地域おこし協力隊員 の本県定住率(%)	52	63	40	達成	65	97%	
所管課 評価	達成状況	1		← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった				
	達成状況の要因	・地域運営組織の形成にあたり、各地区の「地域づくり計画」策定が機運となり、地域住民の自分たちで地域をつくる意識が向上したことが一番の要因と考えられる。						
	評価指標以外の 成果	・各地区の地域づくり計画に基づき、公民館時代の生涯学習・社会教育に関する事業のほか、防災・健康福祉に資する事業や、地域の資源を生かした事業、地域課題に対応した事業が始まった。また、運営組織内での議論も活発に行えるようになった。						
	今後の展開	・上記の事業を拡充させつつ、地域コミュニティの充実や、資源を生かした収益事業、地域の稼ぐ力向上へとつなげていく。						

委員評価

- ・まちづくりの取組によって、市民そのものが力をつけていけるようにすべき

課題

- 冬季間の観光客数が低調
- 近年多発するゲリラ豪雪への対応
- マイナスイメージが強い「雪」を魅力に転換 等

重要業績評価指標(KPI)

- 冬季間の観光入込み客数の年間構成比(R3)……12%
- 雪害事故の発生件数 (R3)……12件減少
- 県や市町村等を介した移住者数(R3) ……230人

※ 指標は県全体の数値

計画の概要

① 活力ある雪国づくりの戦略的展開

- ◆ 「いきいき雪国やまがた条例」の制定を踏まえ、新たな雪対策基本計画、行動計画を策定【山形県】

② 雪を活かした地域活性化

- ◆ 雪文化マイスターの活動や、親雪行事、文化等を紹介【山形県】
- ◆ 東北芸術工科大学と連携しイメージ映像を制作。県外向けに雪の好イメージを発信【山形県】
- ◆ 産学官が連携し、雪に関する課題や雪を活かした先進事例の研究、技術開発を実施【山形県】
- ◆ **ICTを活用し、高効率な道路除雪システムを構築**
【長井市】 【村山市】 【天童市】



除雪車両に設置する端末からGPS通信を行い、運行状況を記録

※GPS…全地球測位システム



PCやスマートフォンで、車両の位置情報や運行状況をリアルタイムに確認できる

③ 「雪国やまがた」のブランド化による交流人口の拡大

- ◆ 「いきいき雪国やまがた条例」の制定を踏まえ、新たな雪対策基本計画、行動計画を策定【山形県】

「住んでよし」「訪れてよし」の活力ある雪国づくり

R1年度の交付金事業評価

所管課	建設課
事業期間	R1年4月～R4年3月
連携自治体	山形県、村山市、天童市、山辺町

事業費	事業期間の実績額	R1年度		最終評価年度
		12,877,000円	うち長井市 3,634,400円	

重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	R1年度		達成 状況	R3年度		※ 指標は県全体の数値
		目標	実績		目標	達成度	
	冬季間の観光入込み客数の年間構成比(%)	10	10	達成	12	83%	
	雪害事故の発生件数(件)(減少目標)	170	170	達成	158	93%	
	県や市町村等を介した移住者数(人)	200	200	達成	230	87%	

所管課 評価	達成状況	1	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況の要因	<ul style="list-style-type: none"> GPS通信により、除雪車の軌跡をリアルタイムで確認できるようになったため。 	
	評価指標以外の成果	<ul style="list-style-type: none"> 除雪車を監視できるようになったことによる、除雪費の削減及び効率化 市ホームページで除雪車の軌跡を公開することで、市民サービスの向上 	
	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度については、少雪の影響で除雪の出動回数が少なかったが、今後除雪車の軌跡のデータを蓄積することで、効率的な除雪作業を行えるようデータの解析を行い、除雪路線の見直し等により市民生活の向上につなげていく。 	

委員評価

・特段、意見なし

課題

- 市新庁舎の整備に合わせた駅前エリアのにぎわい創出
- 交流人口、関係人口の拡大
- まちなかへの人の流れの強化 等

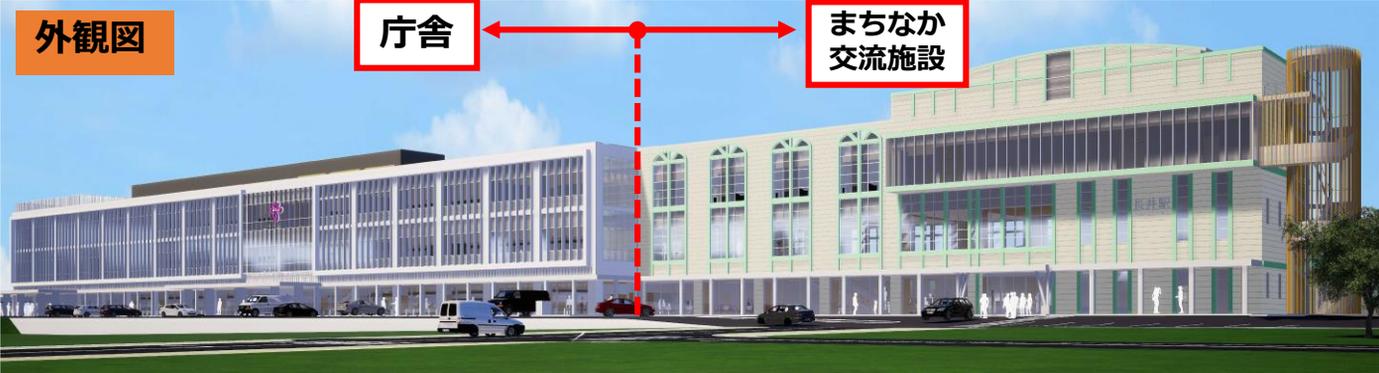
重要業績評価指標(KPI)

- まちなか交流施設利用者数(R5)……………108,000人
- 物販の売上高(R5)……………4,000万円
- 市民交流ホール等の利用団体数(R5) ……50団体

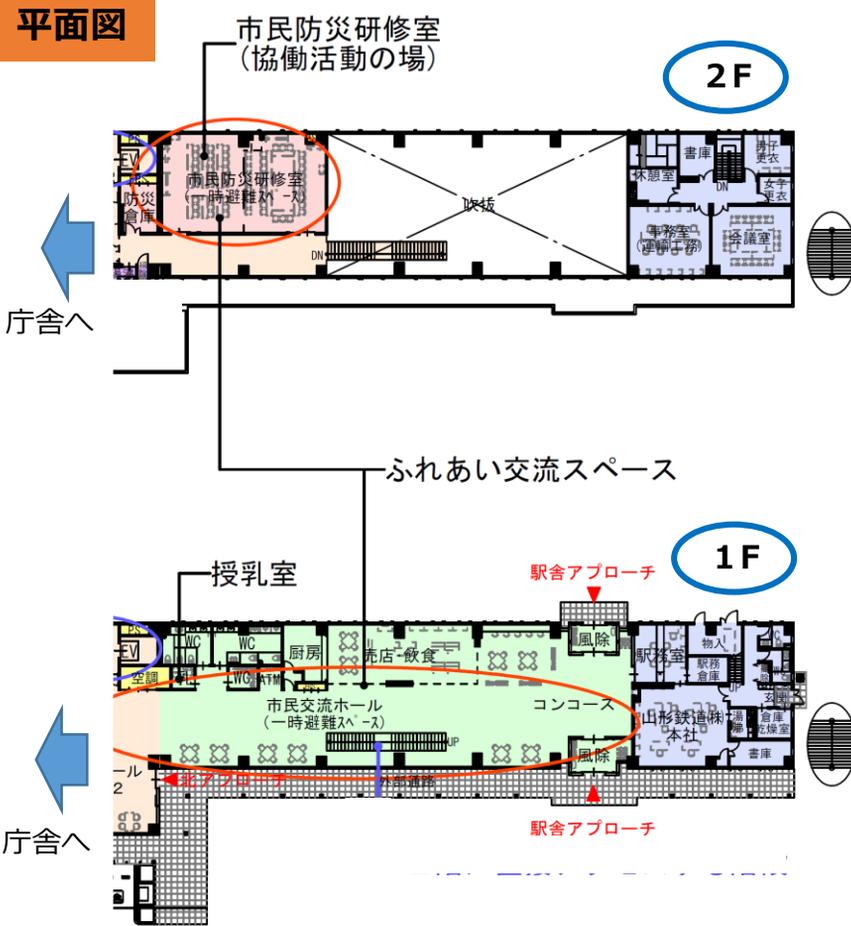
計画の概要

- ◆市新庁舎を訪れる市民とフラワー長井線を利用した観光客が交流できる場として、「まちなか交流施設」を整備。
- ◆市民の利便性を第一に考慮し、市新庁舎と併設。
- ◆山形鉄道(株)が入居することで、公共交通と連動した施設運営の体制を構築。

外観図



平面図



【主な機能】

- ◆市民交流ホール (1F)
 - ・長井の魅力発信
 - ・来訪者の憩いの場となる飲食・物販スペース
 - ・観光案内所
- ◆市民防災研修室 (2F)
 - ・市民活動の場
 - ・災害発生時の一時避難スペース
- ◆レンタルオフィス (1F)
 - ・山形鉄道(株)本社

R1年度の交付金事業評価

所管課	公共施設整備課			
事業期間	平成31年4月～令和2年3月			
事業費	事業期間の実績額	R1年度		最終評価年度
		113,086,000円		
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	R1年度		R5年度
		目標	実績	目標
	まちなか交流施設 利用者数(千人)	0	※	108
	物販の売上高 (百万円)	0		40
市民交流ホール等 の利用団体数(団体)	0	50		
※R1～2年度は建設工事实施中 のため実績なし				
所管課 評価	達成状況	—		← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況の要因	—		
	評価指標以外の 成果	・建設工事中のため、成果なし		
	今後の展開	・令和3年3月19日竣工予定		

委員評価

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で価値観が変化してきているので、新たな公共施設において
上手くマッチした取組に期待
- ・取組によって生活が充実していくことを市民が実感できるような発信が重要